

令和5年 上半期

火災・救急・救助の概況



NIIGATA JOETSU AREA FIRE DEPT.
上越地域消防局

目 次

火災概況	1
1 火災発生状況	1
2 出火原因	2
3 火災による死傷者	3
4 損害額の推移	3
5 住宅用火災警報器	4
救急概況	5
1 救急出場状況	5
2 救急搬送人員	7
救助概況	8
1 救助出場状況	8
2 救助人員	9

火災概況

1 火災発生状況

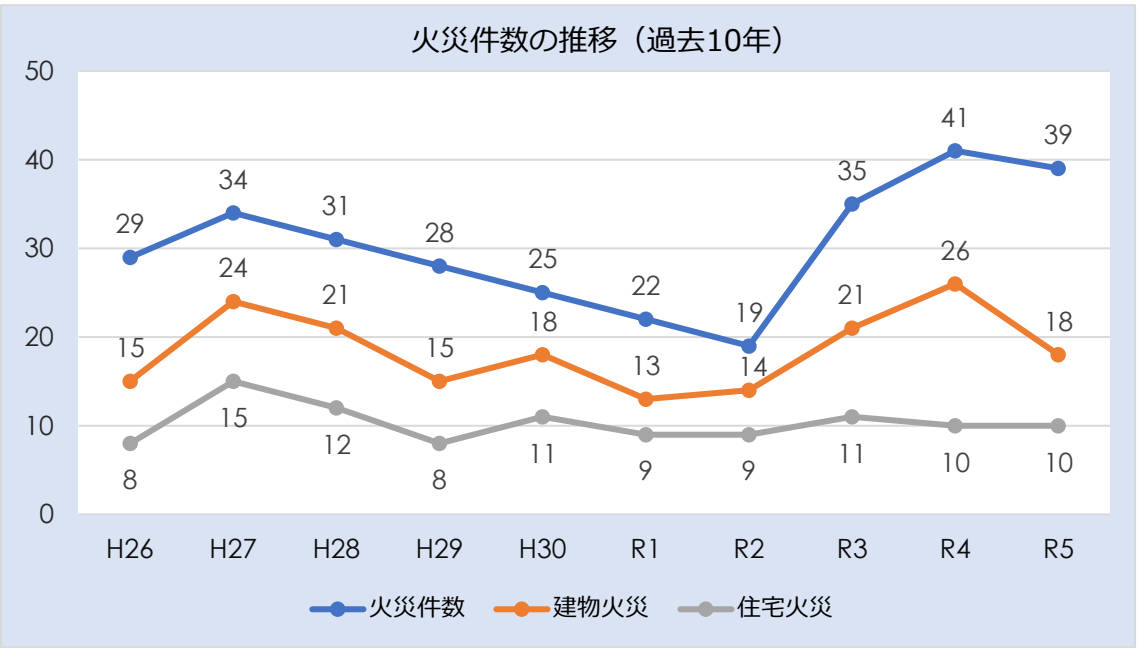
令和 5 年上半期の火災発生件数は 39 件で、過去 10 年間で最も多かった前年と比較し、2 件減少しました。火災種別では、建物火災が 18 件と最も多く、そのうち住宅火災は 10 件でした。

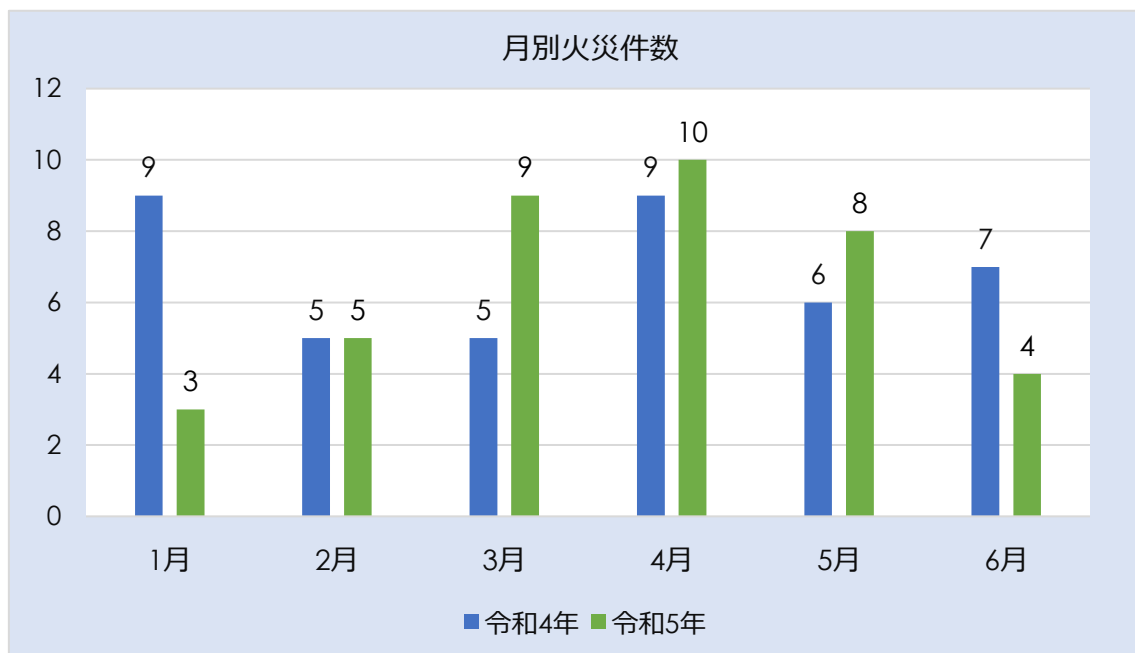
月別件数でみると、4 月が 10 件と最も多く、次いで 3 月が 9 件でした。

上半期火災発生状況

	令和4年 (件)	構成比 (%)	令和5年 (件)	構成比 (%)	増減 (件)
火災件数	41	100.0	39	100.0	△ 2
建物火災	26	63.4	18	46.1	△ 8
住宅火災	10	(24.4)	10	(25.6)	
林野火災	2	4.9	1	2.6	△ 1
車両火災	2	4.9	4	10.3	2
その他火災	11	26.8	16	41.0	5

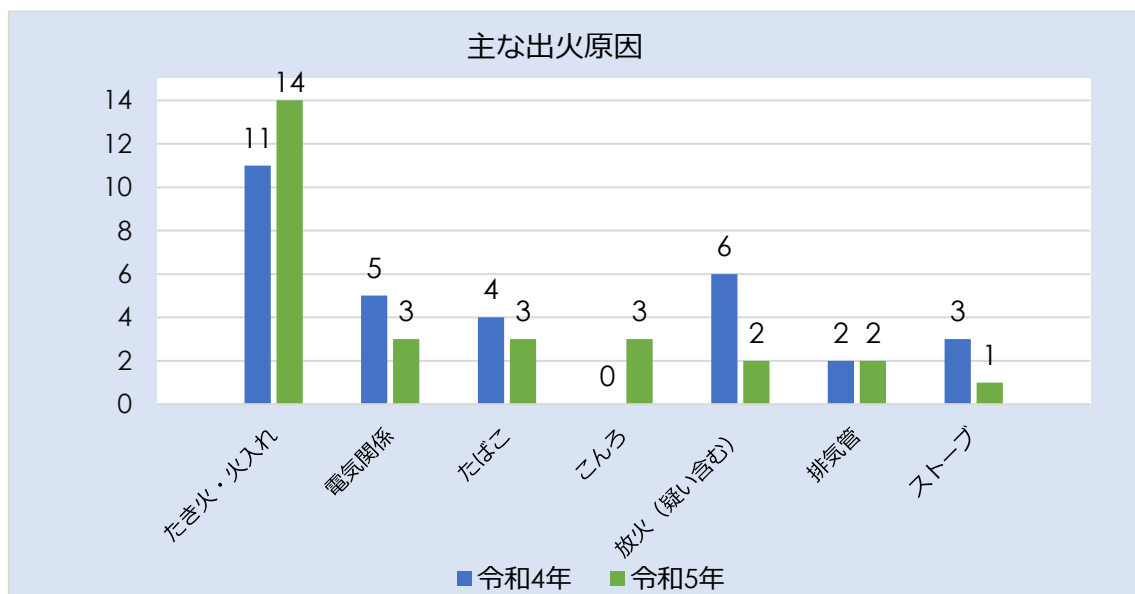
※ () は全火災件数に対する構成比





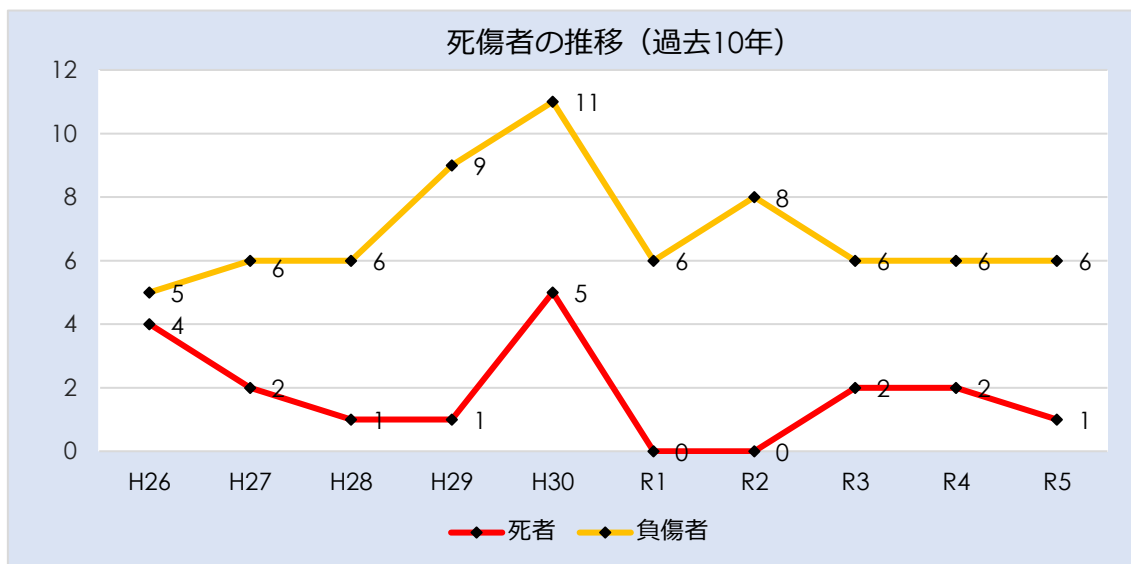
2 出火原因

令和5年上半期の主な出火原因を見ると、「たき火・火入れ」が最も多く、14件となっています。「電気関係」「たばこ」「こんろ」はそれぞれ3件、「放火（疑いを含む）」は2件でした。



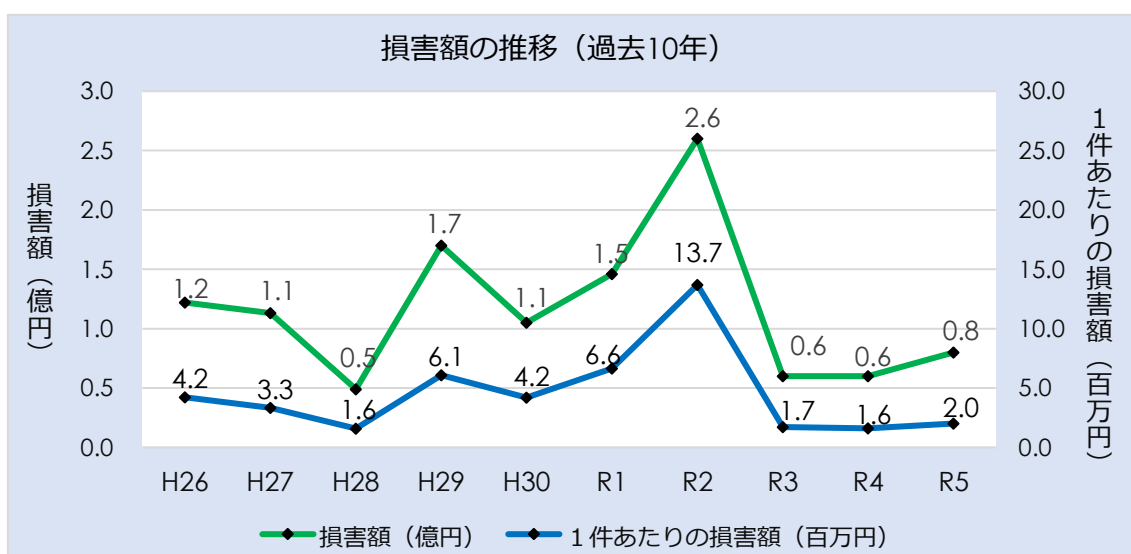
3 火災による死傷者

令和 5 年上半期の火災による死者は 1 人、負傷者は 6 人でした。死者は住宅火災で発生しています。



4 損害額の推移

令和 5 年上半期の損害額は 0.8 億円、1 件あたり 2.0 百万円でいずれも昨年より増加しました。



5 住宅用火災警報器

令和 5 年 6 月 1 日時点における上越地域消防局管内の住宅用火災警報器の設置率は 92.3 %、条例適合率は 65.4 %でした。また、作動確認を実施した世帯のうち、全体の 5.6 %に何らかの不具合が見つかりました。

※設 置 率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が 2 階にある場合は階段の上部）のうち、1 か所以上設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

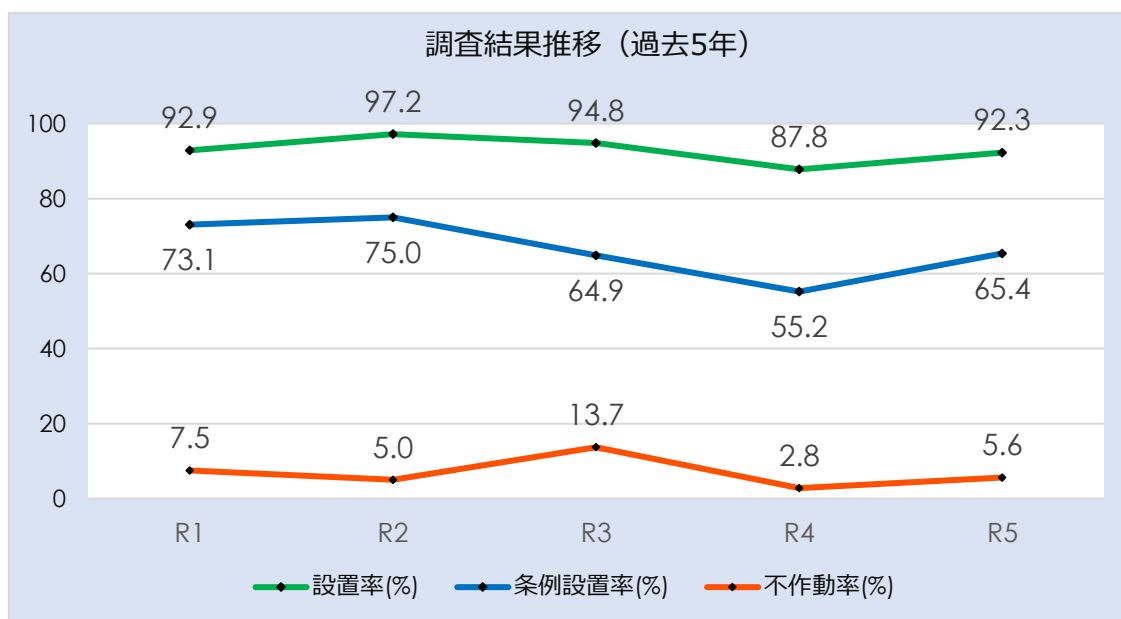
※条例適合率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が 2 階にある場合は階段の上部）のすべてに設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

※不 作 動 率：作動確認をした世帯のうち、点検時に電池切れや故障等の不具合があった世帯の割合

	令和4年	令和5年	増減
設置率	87.8%	92.3%	4.5
条例適合率	55.2%	65.4%	10.2
不作動率	2.8%	5.6%	2.8

調査結果では設置率と条例適合率が前年と比べて上昇しました。

一方で、作動点検を実施した世帯の一部には、「電池切れ」や「故障」といった不作動が現れています。住宅用火災警報器の交換目安は 10 年と言われており、完全義務化となった平成 23 年頃に取り付けた機器は、不具合がある可能性が高いことから定期的な作動点検を呼びかけています。



救急概況

1 救急出場状況

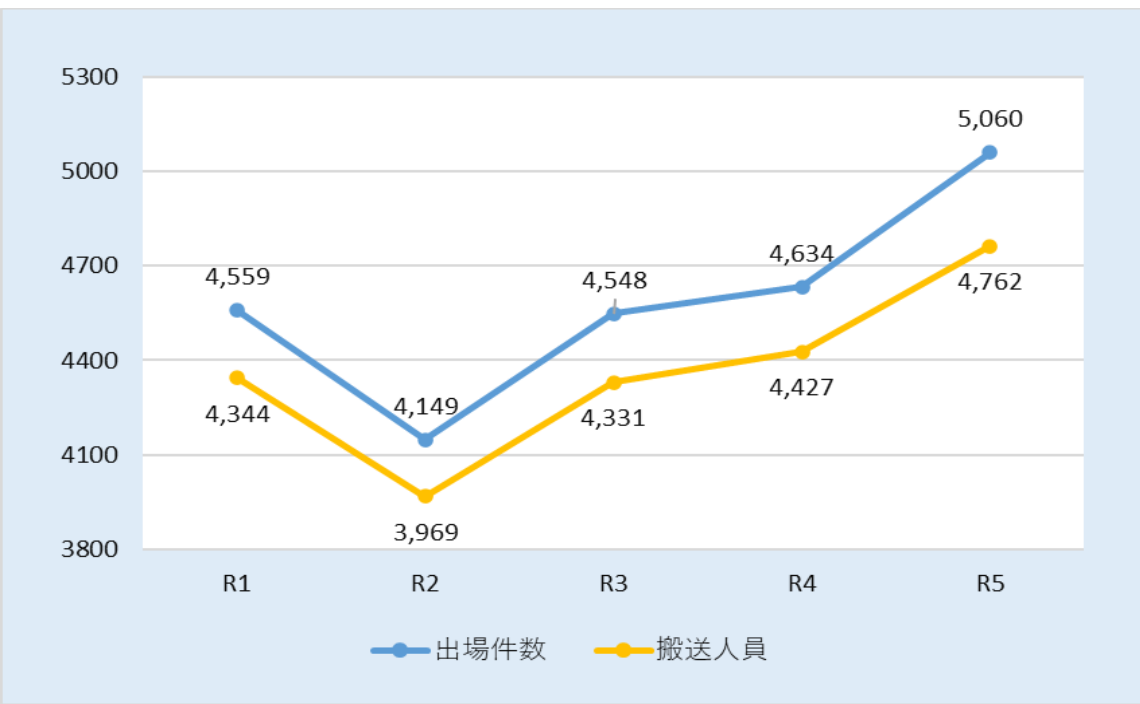
令和 5 年上半期の救急出場件数は 5,060 件で、1 日平均 28 件、約 52 分に 1 件の割合で救急車が出場したことになります。

前年と比べ、出場件数は 426 件、搬送人員は 335 人増加しています。

上半期救急出場件数

	令和4年	令和5年	増減
出場件数	4,634	5,060	426
搬送人員	4,427	4,762	335

上半期救急出場件数の推移



令和5年上半期 火災・救急・救助の概況

救急出場件数を事故種別で見ると、最も多いのが「急病」で3,288件、全体の65.0%を占めています。次に「一般負傷」の806件で15.9%、「転院搬送」が566件で11.2%、「交通事故」が191件で3.8%となっています。

上半期事故種別救急出場件数

事故種別	出場件数	構成比
急病	3,288	65.0%
一般負傷	806	15.9%
交通事故	191	3.8%
労働災害	59	1.2%
自損行為	38	0.7%
加害	14	0.3%
火災	33	0.7%
運動競技	31	0.6%
水難事故	2	0.0%
自然災害	0	0.0%
その他	32	0.6%
転院搬送	566	11.2%
合計	5,060	100.0%

上半期月別救急出場件数

	令和4年	令和5年	増減
1月	819	1,039	220
2月	743	746	3
3月	740	822	82
4月	760	793	33
5月	787	874	87
6月	785	786	1

2 救急搬送人員

令和5年上半期の救急搬送人員は4,762人で、そのうち上越市が83.8%、妙高市が16.1%を占めています。

また、全搬送人員のうち高齢者が占める割合は、69.8%となっています。

上半期地域別救急搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者		計	構成比
						高齢者割合		
上越市	12	125	98	936	2,819	70.7%	3,990	83.8%
妙高市	0	20	26	218	503	65.6%	767	16.1%
他市町村	0	0	0	4	1	20.0%	5	0.1%
合計	12	145	124	1,158	3,323	69.8%	4,762	100.0

※ 新生児：生後28日未満
 ※ 乳幼児：生後28日以上～7歳未満
 ※ 少年：7歳以上～18歳未満
 ※ 成人：18歳以上～65歳未満
 ※ 高齢者：65歳以上

全搬送人員に占める軽症者の割合は令和元年以降、概ね45%前後で推移しています。

上半期傷病程度別救急搬送人員

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
軽症	1,904	1,753	1,822	1,915	2,209
中等症	1,791	1,668	1,930	1,908	1,975
重症	519	429	468	470	469
死亡	129	119	111	134	109
合計	4,343	3,969	4,331	4,427	4,762

※ 軽症：入院を要しないもの
 ※ 中等症：21日未満の入院を要するもの
 ※ 重症：21日以上入院を要するもの
 ※ 死亡：初診時死亡が確認されたもの

救助概況

1 救助出場状況

令和 5 年上半期の救助出場件数は 37 件で、昨年より 8 件増加しています。また、出場件数のうち、活動件数は 18 件で、昨年より 2 件減少しています。

「交通事故」による出場件数が増加していますが、活動件数は減少しています。

上半期救助出場・活動状況

事故種別	出場件数			活動件数		
	令和 4 年	令和 5 年	増減	令和 4 年	令和 5 年	増減
合 計	29	37	8	20	18	△ 2
火 災	1	1		1	1	
交 通 事 故	10	15	5	9	4	△ 5
水 難 事 故	2	4	2		1	1
自 然 災 害	3		△ 3			
機 械 事 故	3	2	△ 1	3	1	△ 2
建 物 等 事 故	5	8	3	4	6	2
ガス酸欠事故						
爆 発 事 故						
そ の 他 事 故	5	7	2	3	5	2

※その他事故：山岳事故、転落事故など

令和5年上半期 火災・救急・救助の概況

上半期地域別救助出場件数

	救 助 事 故 種 別 (件)									合計		増減
	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他事故	令和5年	令和4年	
上越市	1	11	4		1	6			5	28	21	7
妙高市		4			1	2			2	9	7	2
他市町村											1	1
合 計	1	15	4		2	8			7	37	29	8

2 救助人員

令和5年上半期の救助人員は15人で、昨年より4人減少しています。

上半期地域別救助人員

		救 助 事 故 種 別 (人)									合計		増減
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他事故	令和5年	令和4年	
上越市			4	1		1	3			3	12	16	△4
妙高市										3	3	2	1
他市町村												1	△1
合 計	令和5年		4	1		1	3			6	15	19	△4
	令和4年		10			3	4			2	19		
増 減			△6	1		△2	△1			4	△4		